

不祥事根絶に向けた取組について

日 立 市 立 諏 訪 小 学 校 長

教職員一人ひとりが、未来を担う児童の教育に携わっているという自覚と誇りを持ち、より良い学校づくりや地域の信頼を得た教育活動を進めるため、本校では、下記の不祥事根絶に向けた取組を通して、不祥事を起こさない・起こさせない組織を目指します。

1 すべての教職員が「自分事として捉える」ための取組

(1) 校内コンプライアンス研修

- ・過去の通知、資料等を活用し、計画的に校内コンプライアンス研修を実施することで繰り返し「自分事として捉える」ための意識を啓発します。

(2) チェックリストを活用した日頃の体制チェック

- ・「安心・安全な学校生活のためのチェックリスト」「不祥事防止のためのチェックリスト」を活用し、教職員一人ひとりが日頃の指導や言動を振り返ることができるようにするとともに、「自分事として捉える」意識を高め、組織体制をチェックします。

(3) 教職員への啓発

- ・チェックリストに基づき、管理職との個別面談等を実施します。個別面談では管理職が教職員に対し不祥事を自分事として捉えるための助言等を行い、意識を啓発します。

2 不祥事の未然防止に向けた取組

(1) 風通しのよい働きやすい職場環境作りのための取組

- ・不祥事の原因の一つに「ストレス過多」があることから、平日の年休取得や計画的な業務遂行を奨励し、月の残業時間45時間以内を目指します。
- ・管理職は、教職員からのあらゆる相談に応じ教職員を支えます。

(2) 飲酒運転根絶に向けた取組

- ・①飲酒する場合は車を使用しない、②車を使用している人には飲酒を勧めない、③節度ある飲酒を心がける、以上3点を遵守し、飲酒運転防止を徹底します。

(3) わいせつ・ハラスメント未然防止に向けた取組

- ・計画的な校内研修を通して、日頃から「お互いに気を付けようね」を合言葉にわいせつ及びハラスメントの未然防止に向けた取組を徹底します。

(4) 「One IBARAKI」、メール送信注意事項の活用等

- ・職員室内及び机上に掲示し、常に読むことができる環境を維持します。
- ・メールの誤送信防止に向けて、送信時に複数体制でチェックします。

(5) 盗撮防止に向けた取組

- ・教職員一人ひとりが毎日、更衣室やトイレを巡回し不審物がないかチェックします。
- ・管理職が毎日、更衣室・トイレを巡回し、検査器具を用いて確認します。
- ・更衣室等の整理整頓に努め、盗撮させない環境づくりを維持します。

(6) 不祥事の未然防止に向けた意識をもつ

- ・不祥事未然防止のための具体的な取組を各自が設定するとともに、職員室机上に示し、常に意識できるようにします。
- ・「誰かが見ている」という気持ちで職務を遂行します。
- ・本校からいかなる不祥事も起こさない、起こさせない気持ちで職責を果たします。